

北海道新幹線の建設促進について

北海道部会提出
説明担当 北広島市

北海道新幹線については、昨年3月26日の「新青森―新函館北斗間」の開業から1年半が経過し、道南方面を中心とした地域経済の発展に寄与しているところである。

北海道新幹線は、首都圏はもとより、東北や北関東圏との文化・経済交流の促進や、新産業の創出等の効果をもたらすものであり、魅力と活力に満ちあふれた北海道を築き上げ、ひいては、我が国全体の発展に欠かすことのできない社会資本として期待されている。

すでに全線開業している整備新幹線は、関係する地域の経済発展に大きく貢献していることから、北海道新幹線についても、利用者が道南方面のみならず全道各地を周遊することで、その開業効果を道内全体に波及させていくことが重要であり、札幌までの全線開業により、その実現が最大限図られるものである。

現在、「新函館北斗―札幌間」の平成42年度末の開業に向けて工事が進められているが、今後、さらに工期を短縮し、開業時期を前倒しすることを、道民は待ち望んでいる。

については、北海道新幹線の建設促進に向けて、次の事項を強く要望する。

記

- 1 新青森・新函館北斗間の安全運行の確保と札幌までの早期完成
- 2 貸付料など幅広い観点からの更なる建設財源の確保や財源措置の拡充による地方負担の軽減
- 3 青函共用走行区間における新幹線高速走行の早期実現